

いまみ 緑のたより



ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/imajukuminami>

さわやかな風のように

校長 江野澤 勝



イマミの丘を吹く風もさわやかに、新緑がまぶしい季節となりました。この時期は、新緑だけでなく、たくさんの植物が花を開く時期でもあります。校内を5分歩くだけでも10種類以上の花を見ることができました。学校が始まって早一ヶ月、入学式で私の挨拶に「ありがとうございます。」と元気に答えていた1年生もすっかり学校に慣れてきた様子です。登校時や教室の前を通る時には、明るい声で「おはようございます」と挨拶をし、温かい気持ちにさせてくれます。休み時間には、たくさんの子が校庭に飛び出し、予鈴やりの音楽が流れると「もどろろ!」「3時間目だ」と教室に戻っていきます。お昼には給食をおいしそうにほおぼる顔を見ると、こちらの顔もほころんできます。春、初夏のさわやかな風のような姿です。

先日、2年生の子ども達が、夏野菜の苗を自分の鉢に植えていました。こちらから聞く前に「ミニトマト植えたんだよ!」「オクラが好きだからこれにしたの!」等、自分からたくさん話をしていました。こうなってほしい、こう育てたいと子どもなりのめあて、願いをもちながら栽培をすることで、発見すること、感じることに、学ぶことは、実にたくさんあることなのでしょう。夏が楽しみです。

また、4月23日には授業参観を行いました。まだまだ新型コロナウイルス、まん延防止等重点措置が適用されている中ではありますので、健康観察、消毒等にも気を付けながら、授業の公開を学年に応じて3コマや4コマとし、また教室への入室人数も制限しながらの参観とさせていただきました。子ども達は授業参観に向け、緊張、ドキドキ、わくわくしている面持ちで、おうちの方と目が合うと、とてもうれしそうにしていたのが印象的でした。頑張っている姿を直接見てもらえるというのは、やはり大きなものだと感じました。保護者の皆様のご協力にも感謝いたします。

今後、5月から6月に向けどのような状況に向かうか心配は尽きませんが、子ども達が安心して学校生活を送れるよう、これからも尽力してまいります。改めて、新型コロナウイルス感染症の感染者等に対する差別や偏見につながるようなことは不適切であり、あってはならないという思いを保護者の皆様と共有しながら、学校運営を進めていきたいと考えております。どうぞよろしくお願い申し上げます。

今月号は、文字の書体をUD教科書体（ユニバーサルデザインの書体）にしてあります。止め、はね等が見やすい書体といわれています。

イマミの丘を吹く風もさわやかに、新緑がまぶしい季節となりました。この時期は、新緑だけでなく、たくさんの植物が花を開く時期でもあります。校内を5分歩くだけでも10以上の花を見ることができました。

学校が始まって早一ヶ月、入学式で私の挨拶に「ありがとうございます。」と元気に答えていた1年生もすっかり学校になれた様子です。登校時や教室の前を通る時には、明るい声で「おはようございます」と挨拶をし温かい気持ちにさせてくれます。休み時間には、たくさんの子が校庭に飛び出し、予鈴代わりの音楽流れると「もどろう!」「3時間目だ」と教室に戻っていきます。お昼には給食をおいしそうにほおぼる顔を見ると、こちらの顔もほころびます。

今月号は、文字の書体をUD教科書体（ユニバーサルデザインの書体）にしてあります。止めや払い、はねなどが見やすい書体といわれています。

及び保護者や地域の皆様への周知を

感染拡大防止のの校長会でご説明させていただきました「ユニバーサルデザインの書体」に関する資料をお送りさせていただきます。

前置きとして、ユニバーサルデザインの定義を簡単にご説明します。端的に言うと、「**障がいのある人にとって、なくてはならないもの。健常の人にとっても、あると便利なもの。**」その考えに基づくものが、ユニバーサルデザインです。特別支援教育がご専門の横浜国大教育学部教授の関戸先生は、エレベーターを例に出しますが、私はこの例えが最も分かりやすいと考えています。エレベーターは、「**車いす利用者にとってなくてはならないもの。さりとして、一般の人にとってもあると便利なもの**」です。分かりやすいですね。

昨年度、コロナ禍において、当たり前のように毎日学校で会えること、共に過ごせること、学べることのありがたさ、大切さを、改めて実感しました。子どもたちが共にかかわり認め合い、学び合い、支え合い、高め合い、一人ひとりのよさを発揮できるよう努めてまいります。この目指す子どもの姿に近付くためには、まず、日々学ぶ学校が安心して生活できる場であることが大切になります。普段の学校生活や学習の中で小さな成就感を積み重ねていくことで子どもたちが自信をもち、また、挨拶を大切にすることで自分とつながりのある人々との関係を意識し、互いを認め合い、共に学び合う気持ちを高めていくことにもつなげていきたいと考えています。

これからも、みんながかがやく今宿南小学校でいられるよう、教職員一同、子ども達と共に「あせらず、たゆまず、おこたらず」力を尽くしてまいります。保護者の皆様、地域の皆様と共に、温かい目で子ども達を見守り、育てていける学校を目指します。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

コロナの偏見、差別 改めて、新型コロナウイルス感染症の感染者等に対する差別や偏見につながるような行為は、不適切であり、あってはならないという認識を確認していただき、偏見や差別の防止を徹底するとともに、児童生徒及び保護者や地域の皆様への周知をお願いします。



ふきのとう
なほ

こ
よがあげました
あさのひかりをあびて
竹やぶの竹のはっぱが
「さむかったね」
「うん、さむかったよ」
とささやいています。
雪がまだすこしのこって、あたり
はしんとしています。
どこかで小さな声がありました。
「よいしょ、よいしょ。おもた
い
な」
竹やぶのそばのふきのとうです。
雪の下にあたまを出して、雪をど
けようと、ふんばっているところ
です。
「よいしょ、よいしょ。そとが見
たいな」
「こめんね」
と、雪が言いました。
「わたしも、早くつけて水にな
り、とおくへ行って遊びたいけ
と、上を見上げます。
「竹やぶのかけになって、お日様
があたらぬい」
と、さんねんそつです。
・(略)・

6年 「1年生サポート大作戦！」

6年生は「1年生サポート大作戦！」と称して、1年生に登校後の朝の準備や給食の片付けなどのサポートを毎日行っています。「ロッカーはこっちだよ。」「食器はこうやって、そっと片付けるんだよ。」などと、優しく声をかけながら、学校のことを教えている6年生の姿を見ていると、とても頼りかいらがあり、最高学年としての自覚が溢れているように感じます。1年生と6年生の教室は、同じフロアにありペア学年でもあるので、運動会や全校遠足など、これからも交流を続けていきます。

ロッカーの場所を教えたり、ランドセルを一緒にしまったりするなどの手伝いをしています。

学校ではリサイクルのために、給食を食べた後、牛乳パックを開きます。6年生は、給食をすばやく食べ、1年生の教室に行き、牛乳パックの開き方を教えています。

1年生を迎える会

4月16日（金）に1年生を迎える会を開催しました。1年生も2週間が過ぎ、少しずつ学校生活にも慣れてきました。希望と期待をもって学校生活を送ることができるようにと代表委員会で話し合い、2年生から6年生の児童が準備しました。

6年生が1年生と一緒に入場し、計画運営委員が学校紹介や学校にまつわるクイズを行いました。2年生は自分たちが育てた「あさがおの種」をプレゼントする等、楽しいひと時を過ごすことができました。

これからも安心して学校生活を送り、健やかに育ってくれることを願っています。

児童支援専任より

児童支援専任の佐々木圭子です。児童一人ひとりが安心して、自分らしく楽しい学校生活を送れるように児童指導の中心として、全校児童にかかわる仕事をしています。

お子さんや子どもたちのことで、気になることや困っていることがあれば小さなことでも声をかけてください。

○子どもたちの気になる行動 ○子どもに対する悩み ○友達との人間関係 など

また、本校では、お子さんが本来持っている力を発揮できないまま、自信や意欲をなくしてしまわないように、スクールカウンセラーの郷原聡美先生、その他の関係諸機関と連携しながらサポートしていきます。スクールカウンセラーの郷原先生は年間19回来校し（来校日は、年間予定をお知らせしています。学校便りでもお知らせします。）保護者や児童の相談に応じています。相談があれば、児童支援専任の佐々木（圭）が担任の先生に連絡してください。

★個人情報の扱いについて

本校では、学校便り、学年だより等の配付物において、特別な場合（表彰等）を除き個人名や特定の個人が判明しないように配慮し、ホームページにも同様な写真を載せないようにしています。写真等、載せることに対して支障がある場合は、連絡帳でお知らせください。

AET (Assistant English Teacher) 紹介



今年度の英語指導助手（AET）は、昨年度に引き続きオシェイン・ヒルトン先生が来てくださることになりました。走ることが好きなオシェイン先生はジャマイカ出身で、高校時代は100Mを11秒2で走っていたそうです。今年もイマミっ子と外国語の学習ができるのをとても楽しみにしていました。4月から外国語の学習が始まっているので、今後とも楽しく外国語学習を進めていきたいと思えます。

国際理解教室 IUI (International Understanding Instructor) 紹介



国際理解教室とは、外国人講師と英語を通して異なる文化を学習する時間です。

今年度は、イギリス出身のグラッド ポール先生と一緒に、イギリスの文化について学びます。日本の文化と比較しながら異文化を知り、日本の文化にも関心をもてるように学習を進めていきます。年間各クラス5時間という少ない時間ですが、楽しい時間になるようにしていきたいと思えます。